

平成22年2月期 第2四半期決算短信

平成21年10月5日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 カルラ

コード番号 2789 URL <http://www.re-marumatu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 井上 修一

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画担当取締役

(氏名) 清水 あさ子

TEL 022-351-5888

四半期報告書提出予定日 平成21年10月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年2月期第2四半期の連結業績(平成21年3月1日～平成21年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年2月期第2四半期	4,421	△5.1	167	163.6	150	285.4	71	—
21年2月期第2四半期	4,659	—	63	—	39	—	0	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年2月期第2四半期	12.32	12.30
21年2月期第2四半期	0.15	0.14

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年2月期第2四半期	6,155	2,388	38.8	412.40
21年2月期	6,486	2,345	36.2	405.71

(参考) 自己資本 22年2月期第2四半期 2,388百万円 21年2月期 2,345百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年2月期	—	—	—	5.00	5.00
22年2月期	—	—	—	—	—
22年2月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年2月期の連結業績予想(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,616	△0.9	225	—	200	—	80	—	13.96

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 ―社 (社名) 除外 ―社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年2月期第2四半期	5,806,112株	21年2月期	5,794,112株
---------------------	-------------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数	22年2月期第2四半期	13,544株	21年2月期	13,544株
-----------	-------------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年2月期第2四半期	5,794,371株	21年2月期第2四半期	5,793,962株
----------------------	-------------	------------	-------------	------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、世界的な景気の減速、急激な円高の進行等を背景とした企業収益の悪化や設備投資の停滞、雇用不安による個人消費の縮小等、依然として厳しい状況が続いております。

外食産業におきましては、消費者の支出抑制の影響から外食を手控える傾向が一段と鮮明となり、厳しい経営環境で推移しております。

このような状況の中で、当社は和食のファミリーレストランとしての原点回帰を図り、和食の基本である刺身・天ぷら・すし・そば・うどんの商品力強化により競合他社との差別化を図り、既存店の活性化に努めるとともに、冗費の削減、店舗マネジメントの強化に取り組み、収益力の強化に努めてまいりました。

店舗展開につきましては、山形県酒田市に新フォーマットの60坪84席タイプの和風ファミリーレストラン「まるまつ」を新規出店いたしました。また、第1四半期に2店舗、第2四半期に3店舗を閉店し、平成21年8月31日現在の店舗数は122店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高44億21百万円(前年同期比5.1%減)、営業利益1億67百万円(同163.6%増)、経常利益1億50百万円(同285.4%増)、四半期純利益71百万円(同8,374.8%増)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は61億55百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億33百万円減少いたしました。

流動資産の合計は、前連結会計年度末と比較して5百万円減少し6億26百万円となりました。

固定資産の合計は、前連結会計年度末と比較して3億26百万円減少し55億28百万円となりました。これは主に減価償却による固定資産の減少によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末と比較して3億74百万円減少し37億66百万円となりました。これは主に借入金金の減少によるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比較して43百万円増加し23億88百万円となりました。この結果、自己資本比率は38.8%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は前連結会計年度末とほぼ同額の2億76百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

営業活動の結果得られた資金は、2億22百万円となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益1億3百万円、減価償却費1億81百万円等であります。

投資活動の結果使用した資金は、92百万円となりました。主な要因は、土地の売却による収入1億72百万円、成田店の底地購入及び新規出店店舗の固定資産取得等による支出1億9百万円等によるものです。

財務活動の結果使用した資金は3億16百万円となりました。主な要因は、借入金の返済によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成21年4月9日に公表しました業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法を採用しております。

③法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目及び税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。また、繰延税金資産回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

(たな卸資産の評価基準の変更)

第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、評価基準について原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この変更に伴う損益への影響は軽微であります。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	276,544	277,289
売掛金	9,237	6,454
商品及び製品	123,083	140,020
原材料及び貯蔵品	46,769	43,624
その他	171,138	164,435
貸倒引当金	△41	△46
流動資産合計	626,732	631,778
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,996,191	2,144,065
機械装置及び運搬具（純額）	60,495	70,063
工具、器具及び備品（純額）	213,873	261,589
土地	1,645,214	1,667,689
建設仮勘定		5,980
有形固定資産合計	3,915,774	4,149,388
無形固定資産	102,110	112,045
投資その他の資産		
長期貸付金	636,020	670,210
敷金及び保証金	698,621	730,113
その他	176,026	192,889
投資その他の資産合計	1,510,668	1,593,212
固定資産合計	5,528,553	5,854,646
資産合計	6,155,286	6,486,424
負債の部		
流動負債		
買掛金	221,625	274,982
短期借入金	256,310	320,030
1年内返済予定の長期借入金	918,856	925,740
未払法人税等	40,998	45,669
賞与引当金	10,839	10,675
ポイント引当金	1,623	1,921
その他	361,616	389,659
流動負債合計	1,811,869	1,968,678
固定負債		
長期借入金	1,760,248	1,971,654
長期未払金	175,675	175,675
その他	18,616	25,211
固定負債合計	1,954,539	2,172,540

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
負債合計	3,766,408	4,141,218
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,202,319	1,200,987
資本剰余金	938,559	938,559
利益剰余金	277,544	235,204
自己株式	△29,546	△29,546
株主資本合計	2,388,877	2,345,205
純資産合計	2,388,877	2,345,205
負債純資産合計	6,155,286	6,486,424

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)
売上高	4,421,205
売上原価	1,428,600
売上総利益	2,992,604
販売費及び一般管理費	2,825,088
営業利益	167,515
営業外収益	
受取利息	8,790
協賛金収入	1,846
受取賃貸料	14,850
その他	6,302
営業外収益合計	31,790
営業外費用	
支払利息	28,583
賃貸費用	5,938
その他	14,153
営業外費用合計	48,676
経常利益	150,629
特別利益	
固定資産売却益	101,114
特別利益合計	101,114
特別損失	
店舗閉鎖損失	49,153
減損損失	97,688
固定資産売却損	1,793
固定資産除却損	63
特別損失合計	148,699
税金等調整前四半期純利益	103,045
法人税、住民税及び事業税	26,993
過年度法人税等	5,476
法人税等調整額	△667
法人税等合計	31,802
四半期純利益	71,242

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日)
売上高	2,199,576
売上原価	685,313
売上総利益	1,514,263
販売費及び一般管理費	1,412,127
営業利益	102,136
営業外収益	
受取利息	4,094
受取賃貸料	7,918
その他	2,937
営業外収益合計	14,950
営業外費用	
支払利息	17,622
賃貸費用	2,439
その他	7,905
営業外費用合計	27,967
経常利益	89,119
特別利益	
固定資産売却益	101,114
特別利益合計	101,114
特別損失	
店舗閉鎖損失	45,670
減損損失	97,688
固定資産売却損	1,793
特別損失合計	145,152
税金等調整前四半期純利益	45,081
法人税、住民税及び事業税	16,977
過年度法人税等	5,476
法人税等調整額	2,405
法人税等合計	24,859
四半期純利益	20,222

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	103,045
減価償却費	181,890
減損損失	97,688
受取利息	△8,790
支払利息	28,583
有形固定資産売却損益 (△は益)	△99,321
固定資産除却損	63
退店損失	49,153
たな卸資産の増減額 (△は増加)	13,791
仕入債務の増減額 (△は減少)	△53,356
その他	△18,596
小計	294,151
利息の受取額	8,783
利息の支払額	△27,973
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△52,149
営業活動によるキャッシュ・フロー	222,812
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△109,171
有形固定資産の売却による収入	172,857
貸付けによる支出	△18,805
貸付金の回収による収入	31,247
敷金及び保証金の差入による支出	△6,058
敷金及び保証金の回収による収入	22,857
その他	△173
投資活動によるキャッシュ・フロー	92,753
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△63,720
長期借入れによる収入	245,000
長期借入金の返済による支出	△463,290
長期未払金の返済による支出	△6,811
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,332
配当金の支払額	△28,821
財務活動によるキャッシュ・フロー	△316,310
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△744
現金及び現金同等物の期首残高	277,289
現金及び現金同等物の四半期末残高	276,544

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(事業の種類別セグメント情報)

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)

当社グループはレストラン事業の売上高、営業利益の金額が全セグメントの売上高、営業利益の金額の合計額の90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

(所在地別セグメント情報)

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社がないため、該当事項はありません。

(海外売上高)

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

(単位：千円、%)

区分	前中間連結会計期間 (自 平成20年3月1日 至 平成20年8月31日)	
	金額	百分比
I 売上高	4,659,295	100
II 売上原価	1,499,137	32.2
売上総利益	3,160,158	67.8
III 販売費及び一般管理費	3,096,603	66.4
営業利益	63,555	1.4
IV 営業外収益		
1 受取利息	10,242	
2 受取販売協力金	5,318	
3 賃貸収入	3,854	
4 その他	7,494	
営業外収益合計	26,910	0.5
V 営業外費用		
1 支払利息	30,936	
2 閉店店舗地代家賃	7,545	
3 賃貸費用	2,198	
4 その他	10,698	1.1
営業外費用合計	51,378	1.1
経常利益	39,087	0.8
VI 特別利益		
1 固定資産売却益	3	
特別利益合計	3	0
VII 特別損失		
1 固定資産売却損	1,807	
2 固定資産除却損	93	
特別損失合計	1,901	0
税金等調整前中間純利益	37,190	0.8
法人税等	36,261	0.8
少数株主利益	88	0
中間純利益	840	0

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 平成20年 3月 1日 至 平成20年 8月 31日)
区分	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税金等調整前中間純利益	37,190
2 減価償却費	215,727
3 受取利息	△10,242
4 支払利息	30,936
5 固定資産売却益	△3
6 固定資産除却損	93
7 固定資産売却損	1,807
8 たな卸資産の減少額(△増加額)	△43,061
9 仕入債務の増加額(△減少額)	90,111
10 未払消費税等の増加額(△減少額)	△7,101
11 その他	△15,822
小計	299,634
12 利息の受取額	10,242
13 利息の支払額	△30,936
14 法人税等の還付額	34,894
営業活動によるキャッシュ・フロー	313,835
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 有形固定資産の取得による支出	△140,482
2 有形固定資産の売却による収入	301
3 子会社株式取得による支出	△3,200
4 貸付による支出	△50,778
5 貸付金の回収による収入	31,905
6 敷金・保証金の差入による支出	△66,109
7 敷金・保証金の返還による収入	29,851
8 その他	△12,240
投資活動によるキャッシュ・フロー	△210,752
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 短期借入金の増減額	△191,010
2 社債の償還による支出	△30,000
3 長期借入金の借入による収入	200,000
4 長期借入金の返済による支出	△446,362
5 割賦未払金の支払による支出	△26,851
6 新株発行による収入	66
7 少数株主からの払込による収入	3,200
8 配当金の支払額	△57,106
9 その他	△14
財務活動によるキャッシュ・フロー	△167,057
IV 現金及び現金同等物の増加額	△63,974
V 現金及び現金同等物の期首残高	398,989
VI 現金及び現金同等物の中間期末残高	335,014